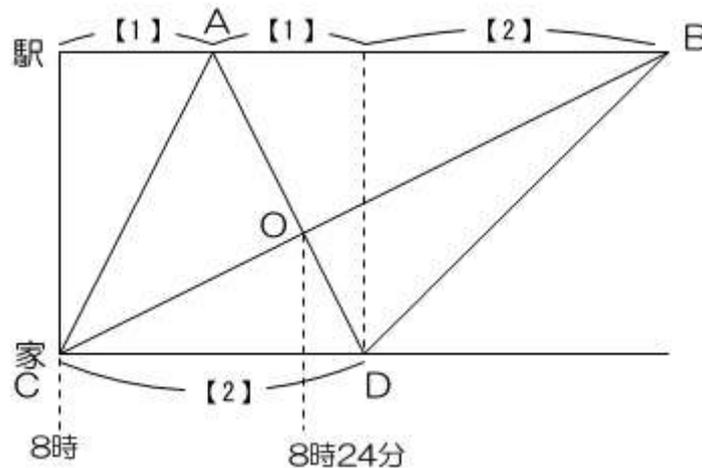


算数オンライン塾 3月8日の問題解説



(1) 学さんが駅まで行く時間を【1】とすると、家まで帰ってくる時間も【1】。
家から降り返したあとの速さは120mと半分になっているので、今度は駅まで【2】の時間がかかります。

それをグラフ上に表すと図のようになります。

ここで学さんと友子さんがすれ違った場所はグラフの三角形OCDと三角形OABの相似から、家から駅までの $\frac{2}{5}$ であることがわかります。学さんは駅まで行ってこの地点までくるのに、

$250 \times 24 = 6000\text{m}$ 走っていますから、家から駅までの距離を<5>とすると、駅からすれ違う場所まで<3>だから

<8>が6000m。<2>は1500m。1500mを友子さんは24分で移動するので、 $1500 \div 24 = 62.5\text{m}$ です。

(答え) 62.5m

(2) (1) から家から駅までは $6000 \div 8 \times 5 = 3750\text{m}$

(答え) 3750m